

レジメン名称(サイラムザ(d1,15)+パクリタキセル(d1,8,15) q4w)

胃癌

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

薬剤	投与量	投与日
		1 コース 4 週間 Day 1.....8.....15.....2229
サイラムザ	8 mg/kg	↓ ↓
パクリタキセル	80 mg/m ²	↓ ↓ ↓

レジメンオーダー以外に必要な処方 化学療法当日：レスタミン 5錠 1× 化学療法時 1回分

注意事項

パクリタキセル：アルコール過敏の確認。アルコール含有のため、外来施行時、運転等での来院について確認、注意すること。

パクリタキセルは起壊死性抗がん剤です。血管外漏出に特に注意してください。

パクリタキセル、サイラムザ：心電図モニター、BP、HR 測定、全身状態の観察が必要（詳細は下記参照）

サイラムザ：室温保存では調製 4 時間以内に使用、すぐに使用しない場合は冷蔵庫で保存すること

専用フィルター付き輸液セット使用

投与方法：1 日目、15 日目	
1	生食 100mL（専用フィルター付き輸液セット使用）、メインルートをプライミングし、止める
2	レスタミン(10mg) 5錠 内服
3	デキサート(1.65mg/0.5mL) 5A、ファモチジン(20mg/20mL) 1A、 生食 30 mL 5分以上かけて、下の側管から投与
4	グラニセトロン(3mg/100mL) 1V 30分かけて点滴、下の側管から投与
5	生食 50mL 15分かけて 下の側管から投与
6	フィルター付き輸液セット使用 サイラムザ _____ mg、生食、全量 250 mL 60分かけて、下の側管から投与 初回および 8 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：全身状態の確認（呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気）
7	パクリタキセル _____ mg、生食 250 mL 60分かけて 上の側管から投与 初回および 4 週以上あいた時下記実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：全身状態の確認（呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気）
8	1の生食を使用し、ウォッシュアウト ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄

投与方法：8 日目	
1	生食 100mL（専用フィルター付き輸液セット使用）メインルートをプライミングし、止める
2	レスタミン(10mg) 5錠 内服
3	デキサート(1.65mg/0.5mL) 5A、ファモチジン(20mg/20mL) 1A、 生食 30 mL 5分以上かけて点滴、下の側管から投与
4	グラニセトロン(3mg/100mL) 1V 30分かけて点滴、下の側管から投与
5	パクリタキセル _____ mg、生食 250 mL 60分かけて、上の側管から投与 4 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：全身状態の確認（呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気）
6	1の生食を使用し、ウォッシュアウト ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄